

総合型選抜入試 合格体験記

総合型選抜入試があったから勝ち取れた合格！

ありきたりの言葉だけどやっぱり・・・

あきらめなければ夢はかなう！

大分工業高校工業化学科卒業 **大西 琉雅 くん**



宮崎大学 工学部 応用物質プログラム 総合型選抜入試合格!!

合格
おめでとう!

◆今回、宮崎大学の総合型選抜入試を受験しようと思ったのはどうしてですか。

大分工業に進学した時は、大分大学の工業枠があったので安心していましたが突然工業枠がなくなり焦ってしまいました。そんな時、出願条件をクリアしていればチャレンジできる総合型選抜入試があることを先生から教えてもらいました。絶対に国立大学へ進学したい僕には「これしかない!」と思い、必死に自分の3年間とマッチングし自分のやりたい研究ができる大学を探し、普通科の人と一緒に試験でも自分の3年間を活かせば大いに合格のチャンスがある宮崎大学工学部の総合型選抜入試を受験することに決めました。

◆選抜方法はどんなものでしたか。

選抜方法は2つに分かれていました。

第1次選考は、調査書、自己推薦書および活動報告書でした。

高校での学習や出席状況はもちろん、今後の目標や大学進学後の勉学意欲などについてみられます。活動報告書では学業、課外活動、チャレンジなどの諸活動とそのアプローチが評価されます。

作成は大変でしたが、資格取得や表彰、大会・イベントなどの活動に限定されないのがチャンスはみんなに平等にありました。

第1選考に合格した後は、第2次選考として個人面接、小論文でした。

小論文は60分で800字で論述しなければいけませんでした。小論文は2題あり問題に対して自分の意見を書く形でした。

2つ目は、口頭試問を含んだ個人面接です。複数の先生方に対して、僕1人で行われます。

口頭試問では、化学・数学・英語について問われます。面接では、自己推薦書、調査書、活動報告書や小論文の内容を基に質問されます。



◆総合型選抜入試に向けてどんな対策をしましたか。

まずは、第1次選考を通過できるように、自己推薦書、活動報告書の作成に全力を注ぎました。学部のアドミッションポリシー、各プログラムの求める学生像を暗記し、先生と一緒に「どうして宮崎大学工学部に行きたいのか」「応用化学プログラムでの学びを通して将来どんな自分になれるのか」など何度も議論し自分を掘り下げていきました。もし自分だけだったらそこまで掘り下げて考えることは難しかったので一緒に対策をもらったおかげでうわべだけではないものに自信を持って上げることができました。通過後は、テーマを予想して何度も小論文を書く練習、化学・数学・英語の勉強に励みました。直前は本番を想定して口頭試問の練習も繰り返し行いました。

◆当日の試験はどうでしたか。

小論文は2題とも自分の意見を書かせる問題だったので、書く練習もたっぷりしたし自分の意見を話すのが得意な私にはラッキー問題だと感じられました!

口頭試問や面接ではかなり厳しいことまで突っ込んで聞かれました。厳しすぎて一瞬頭が真っ白になりましたが、対策の段階で行ったことや自分を掘り下げて考えたことに自信を持っていれば大丈夫と自分を奮い立たせ何とか乗り越えました。学力をつけておくのは当然ですが、どんな質問にも応えられるように自分の考えをきちんとまとめておいて良かったです。

◆これから総合型選抜入試を受験する後輩たちへアドバイスをお願いします。

普通科の生徒にとっては、一般入試と並行して総合型選抜入試を受験することで夢がかなうチャンスが倍になる入試です。また僕のように実業系高校に進学した後に大学進学への夢を持った生徒にとっても受験のチャンスが生まれます。

日頃から学力を身につけながら、総合型選抜入試の対策を行うのは大変かもしれませんが、総合型選抜入試はどんな高校生にもチャンスが与えられる魅力的な入試です。

ぜひチャレンジしてみてください!!